

世界遺産の島にそびえる韓国最高峰を縦走

漢拏山登頂と 濟州島オルレを歩く

2024年 **10月25日(金)~29日(火) 5日間**

旅行代金 **259,000 円** 新千歳・東京・関西同額 ※その他の空港発着についてはお問い合わせ下さい



漢拏山山頂には火山湖の白鹿潭がひっそりと水面をたたえています

山と秘境の旅 株式会社ノマド **NOMAD**

HP <http://www.hokkaido-nomad.co.jp/> E-MAIL tour@hokkaido-nomad.co.jp

観光庁長官登録旅行業第 1668 号 / 社団法人全国旅行業協会正会員

漢拏山登頂と濟州島オルレを歩く 5 日間

暫定行程表

	日付	都市	スケジュール	宿泊	餌
1	10/25 (金)	新千歳／成田 濟州島 濟州または 西帰浦	新千歳 ✈ 成田 ※東京からご参加の皆様と合流します 成田 16:35 発 <KE-2126> ✈ 濟州島 19:25 着 着後、送迎車にて濟州または西帰浦のホテルへ。チェックイン。	濟州または 西帰浦／ ホテル泊	一 機
2	10/26 (土)	濟州または 西帰浦 城板岳コース 漢拏山 観音寺コース 西帰浦	●漢拏山登山 ●歩程:13km・約 8h(登り約 4h30・下り約 3h30) 専用車にて城板岳(ソンバナク)コース登山口へ。 ・・・ソツ畑待避所・・・沙羅岳(サラオルム)入口・・・漢拏山(1950m／韓国最高峰)・火口湖の白鹿潭が絶景です 下りは観音寺(ガンウムサ)コースへ。 ・・・三角峰待避所・・・耽羅溪谷待避所・・・グリーン洞窟(濟州島で一番標高の高い洞窟)・・・観音寺コース登山口 下山後、専用車にてホテルへ。 ※出発が朝早い場合、朝食は BOX になる場合があります。	西帰浦／ ホテル泊	朝 弁 夕
3	10/27 (日)	西帰浦 山房山 濟州オルレ 10コース 西帰浦	※漢拏山の登山予備日を兼ねます ●山房山と濟州オルレ 10 コース・ハイキング 歩程:約 16km・5～6h 朝食後、バスまたは専用車にて鐘状火山の山房山(395m)へ。約 400 段の階段を上って中腹の洞窟に建つ山房窟寺を訪ねます。 下山後、濟州オルレ 10 コースのスタート地点・花順海水浴場へ。 ・・・黄内海岸・・・松岳山・・・モルスポ港 海岸線の美しい景色と漢拏山の山容を眺めるコースです。 終了後、バスまたは専用車にてホテルへ。 ※昼食はハイキング途中のレストランなどで。	西帰浦／ ホテル泊	朝 一 夕
4	10/28 (月)	西帰浦 天地淵瀑布 正房瀑布 濟州オルレ 7コース 西帰浦	●名瀑と濟州オルレ 7 コース・ハイキング歩程:約 16km・5～6h 朝食後、ホテルから徒歩で濟州島三大瀑布の 2 つ、海へ直接流れ落ちる正房瀑布と、深い滝壺を持つ豪快な天地淵瀑布を見学します。 その後、海から突き出た高さ約 20m の奇岩海蝕柱ウエドルゲへ。 ここから濟州オルレ 7 コースのスタートです。 ・・・スボン路・・・ウォルピョン浦 終了後、バスまたは専用車にて西帰浦中心部へ。西帰浦毎日オルレ市場を散策し、夕食へ。夕食後、ホテルへ。 ※昼食はハイキング途中のレストランなどで。	西帰浦／ ホテル泊	朝 一 夕
5	10/29 (火)	西帰浦 城山日出峰 萬丈窟 濟州島 羽田／新千歳	朝食後、専用車にて世界遺産の城山日出峰と萬丈窟を見学し、濟州空港へ(11:30 頃)。 濟州島 13:20 発 <KE-1218> ✈ 金浦(ソウル)14:30 着 金浦(ソウル)16:20 発 <KE-2103> ✈ 羽田 18:35 着 ※東京からご参加の方は、着後解散となります 羽田(20:30～21:00 発) ✈ 新千歳(22:00～着)		朝 一 機

※KE=大韓航空 フライトスケジュールは暫定です。

今後、多少変更になる場合があります。

※記載の歩程は昼食や休憩時間を除いたおおよその行動時間の目安です

※当日の天候やご参加者の体調などにより、歩くオルレのコースを変更または一部カットする場合があります。あらかじめご了承ください。

※昼食は漢拏山登山では携行用のお弁当をご用意します。オルレのハイキングではコース途中で時間を見ながら食事処で食べるか、テイクアウトにてお摂り頂きます。(ご参加 4 名様以上の場合、昼食はお付けします)

▶濟州島の中央にそびえる漢拏山の登山道からは、好天時には 360 度の大パノラマが楽しめます



整備の行き届いた歩きやすい登山道。 約8時間の達成感ある縦走コースで!!

ポイント

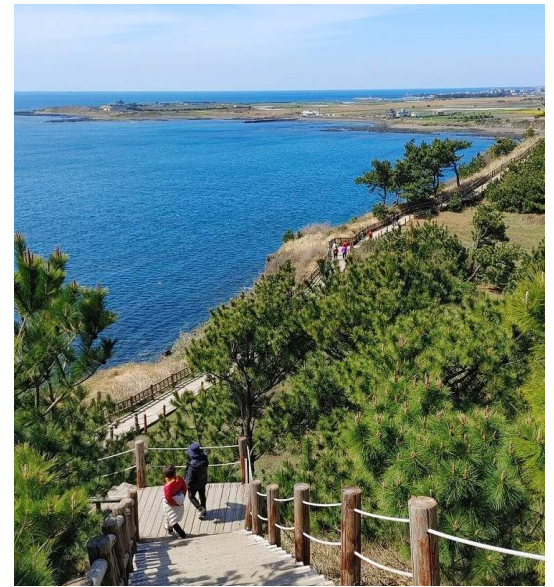
- 1 晴天率が良く、紅葉が美しい登山に好適なシーズン
- 2 登りと下りはコースを変えて縦走
- 3 悪天候に備えての登山予備日付き
- 4 済州オルレ全 20 コースから、美しい海岸線や海蝕奇岩、名瀑など風光明媚な景色を眺める人気の2コースを歩く
- 5 済州島の海鮮グルメや郷土料理も賞味



▲済州島名物のアワビ粥定食(イメージ)



▲世界遺産・城山日出峰。山頂展望台へは 30 分ほどで登れます



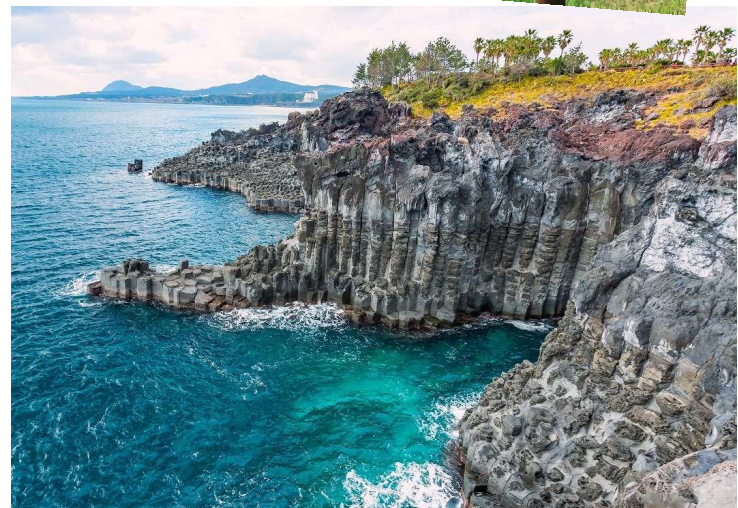
▲松岳山のコース(済州オルレ 10 コース)

- 一人部屋追加料金/45,000 円 (ホテル 4 泊分確約)
- 最少催行人員/3 名
- 添乗員(ツアーリーダー)/新千歳空港より全行程同行します
- 食 事/朝 4 回・昼 1 回・夕 3 回 (機内食を除く)
※ご参加 4 名様以上の場合、昼 3 回
- 利用予定航空会社/コリアンエア(大韓航空)
- 利用予定ホテル: 旧済州/スカイパーク済州、西帰浦/西帰浦 KAL ホテル または同等クラス
- ビザ/不要 ■パスポートの残存期間/入国時 6 ヶ月以上
- 空港諸税、燃油サーチャージは別途申し受けます
(目安: 約 20,000 円/2024 年 5 月現在)

▶済州島オルレのコースに整備されている矢印



▲済州島三大瀑布の一つ、高さ約 22m の天地淵滝



▲漢拏山の噴火による溶岩が固まった柱状節理の海岸線

漢拏山登山と濟州オルレを歩く 持ち物リスト

品 名		数	チェック	備 考
1	登 山 靴	1足	○	漢拏山の登山用に。はき慣れたハイキングシューズでも良いでしょう。足首を保護するハイカットタイプがおすすめです。オルレの歩行は運動靴でも大丈夫です。
2	普 段 履 き 靴	1足	○	観光時や車の移動時に履く靴。※登山靴と兼用でも ok
3	ス ー ツ ケ ー ス	1個	○	大型ザックや旅行鞆でも良い。行動中はホテルに置いておけます。
4	行 動 中 の バ ッ グ	1個	○	小型ザック、ショルダーバックなど。観光でもウォーキングがあるので両手が空くナップザックなどの方が良いでしょう。
5	衣 類 ・ 着 替 え	適数	○	長袖シャツ、スラックスなど・・・動きやすく、乾きやすいもの。
6	防 寒 着	適数	○	10月の濟州島は東京とほぼ同じ気候です。朝夕は多少寒くなり、平均気温は15～23℃なので薄手の羽織るものは必携。重ね着して調節を。
7	下 着 類	適数	○	観光や散策など。ポリエステル素材の即乾素材のものが良いでしょう。
8	雨 具 (上 下)	1着	○	しっかりとしたゴアテックス製の上下セパレート型が良いでしょう。ウィンドブレーカーとしても活用します。
9	ス ト ッ ク (杖)	1組	△	普段、山歩きに使用している方はあれば安心。伸縮式が便利です。
10	ザ ッ ク カ バ ー	1個	○	ザックの防水用レインカバーです。歩行中の急な降雨に備えて。
11	ス パ ッ ツ	1足	△	登山道にぬかるみの場所はあまりありませんが。雨天対策に。
12	ヘ ッ ド ラ イ ト	1個	○	万一の時のために。予備電池もお持ちください。
13	日 除 け 用 帽 子	1個	○	晴れると日差しが強いので、日焼け防止に必携です。
14	サ ン グ ラ ス	1個	○	強い紫外線から目を保護するために。
15	サンダルまたはスリッパ	1組	△	飛行機内、ホテルの室内履き用にあると便利です。
16	筆 記 用 具	適量	○	ペン・手帳など。
17	洗 面 具 品	適量	○	ホテルに基本的なアメニティは付いていますが、韓国では歯磨きセットが付いていない場合も多いです。お好みで石鹸、シャンプー、コンディショナーなど。
18	携 帯 電 話	1	○	海外で使用できる携帯電話をお持ちの方は、なるべくご持参ください。
19	パ ス ポ ー ト	1	○	忘れると出発できません。
20	旅 行 保 険 証 書	1	○	ご契約した海外保険の契約証明書は必ずお持ちください。
21	ク レ ジ ッ ト カ ー ド	1	△	普及率が高いので、買い物、キャッシングに携行すると便利です。
22	水筒またはペットボトル	1	△	行動中の水分補給に飲み物を入れて持ち歩くのに便利。現地でもミネラルウォーターは購入できます。
23	日 焼 け 止 め ク リ ー ム	適数	○	紫外線から肌を守るために。リップクリーム等も。
24	虫 除 け 薬	1	△	時節柄あまりいませんが、山や森などで気になる方は持参ください。
25	水 着 ・ 部 屋 着	適数	△	ホテルに浴衣等の備品はありません。西帰浦のホテルにはプールやサウナもあるので（一部有料）、利用したい方は水着をご持参下さい。
26	折 り た た み 傘	1	△	雨はもちろん、日傘としても利用できるので携行すると便利です。
27	医 薬 品 ・ マ ス ク な ど	適量	△	持病薬、外傷薬、感冒薬、胃腸薬など。マスクは任意でお持ち下さい。
23	嗜 好 品 ・ お や つ	適量	△	登山の行動食として。飲み物なども必要。現地にて買い出しも可能。
24	プ ラ グ 変 換 器 ・ 変 圧 器	1	△	日本の機器はそのまま使用できません。C型が多く、プラグアダプターが必要です。精密機器を充電する際は変圧器を持参して下さい。
25	カ メ ラ ・ バ ッ テ リ ー	適量	△	予備バッテリー（または電池）や充電装置も。

上記のリストは参考としてご活用下さい。 ○…必要なもの △…あると便利なもの